

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57 年 8 月 30 日

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Auto Diesel	(男) 1 人	訓練開始 58 年 4 月
	(日本語) 380 自動車整備	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 58 年 7 月 受入期限 8 年 7 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Manpower, Employment and Training (BUMET)
(日本語): 雇用促進事務局

ロ. 隊員勤務先名称: Technical Training Centre, Rangamat; 日本語名称 (ランガマティ職業訓練中心)
所在地: Rangamat, Chittagong hill trachs 主要都市からの距離 4,99より72キロ

ハ. 事業規模及び内容: 1980年開設, 実習場は建設中2本年完成予定。現在は木工, 電気工事, 溶接, 自動車整備の4コースで活動している。将来工作機械, ラジオTV, 建築等が予定されている。

ニ. 設備概要: 国連援助の機械到着済2あるが, 実習場稼働のため未使用, 校舎, 講堂, 教官宿舎, 生徒宿舎完備 総敷地 30.5エーカー。

(2) 隊員の業務内容: 2次56年計画は1980年7月Fリスタートしたが, 10カ所の新設取組を予定しており, そのひとつ。生徒及び教官への指導にあたる。

- ① 隊員の業務上の地位: 校長下の教官
- ② 技術の範囲: 自動車エンジン, 車体, 工具の名称, 作動機能, 点検項目等が主体。6か月コースのため多くを教えることは困難で, それ程の経験は必要としない。
- ③ 業務の形態: 実習を中心とし, 講義と受持つこともある。
- ④ 対象者及びインターパート: 生徒は8学年卒, 全く基礎的知識もない。カウチーパートの教師も実技経験少なく, 理論的裏付けも乏しい。
- ⑤ 現地で利用できる機械: 工具類, IR-コンプレッサー等国連援助。車両はジープ4台 (米, オーストラリア, 日本) 乗用車2台。内, ミツバシトロール, フラウノの2台は日本大使館より寄贈受け, 実習用教材として使用している。
- ⑥ 取場における3国人等: 溶接隊員。
- ⑦ 使用語: バンガール語, 校長等とは英語も必要。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 2次56年計画での新設校2であるが, 実技に強い教官確保が根拠2あり, 本要請と行った。2代目とする。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専卒以上 ガソリン2級

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 9月 15日

調査者氏名 平田 孝臣

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	AUTOMOBILE MAINTENANCE	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
380 自動車整備			

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): BANGLADESH ROAD TRANSPORT CORPORATION.

(日本語): バングラデシュ道路運輸公社

ロ. 隊員勤務先名称: MOTIJHEEL BUS DEPOT. 日本語名称 (モティールバス営業所)

所在地: KAMLAPUR, DACCA-2. 主要都市からの距離 (ダッカより 0.2キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 当BUS DEPOTは長距離バス専門の営業所で稼働中の車両数は62台 (ISUZU) で従業員総数約300名であり、当営業所からは毎早朝各地方に向けてバスが運行されている。場所的にはダッカ駅のそばに位置しており、B.R.T.C.では最重要のBUS DEPOTである。

ニ. 設備概要: 約20台の車両を収容出来る屋内作業所、屋外RAMP 3、整備工具一式、圧水式洗浄機、エア・インテック、噴射ポンプ試験機、電気放電溶接器、その他旋盤、型削り盤、ラジアルボール盤等の工作機械がある。

(2) 隊員の業務内容: バス営業所に於て車両の保守・整備に係わる一切の管理 (整備管理、燃料・油脂管理、部品・工具管理等) に携わる。それから当DEPOTは長距離バス専門の営業所である為、車両の出先での故障というのは絶対にあってはならないので特に予防整備には力を入れる事になる。

- ① 隊員の業務上の地位: Jr. EXPERTとして一応WORKS MANAGERのADVISER的な立場に置かれる。
- ② 技術の範囲: 総ての事柄に熟知している必要は全くなく、小知識を広範囲にわたって持っている方が仕事は行いやすい。
- ③ 業務の形態: 通常はDEPOTに勤務するが、HEAD OFFICEのCHIEF TECHNICAL OFFICERの要請により、問題解決の為他のDEPOT又はCENTRAL WORK SHOPへ行ったり、あるいは日本から自動車メーカーの技術者等が来た時など行動を共にしなければならない事もある。
- ④ 対象者及びカウンターパート: 立場上、通常はWORKS MANAGERと行動を共にする事が多いが、実際はFOREMAN, MECHANIC, DRIVER, CLEANER等不特定多数の相手が対象でもあり、特にカウンターパートという者の存在はない。
- ⑤ 現地で利用出来る機材: 最近B.R.T.C.でも作業の安全及び作業能率向上の為整備工具の供給には力を入れて来ており、まだ必要な物も沢山あるが、現状ではなんとか事足りているので特に必要はない。
- ⑥ 職場に於ける第3国人の有無: 現在なし。
- ⑦ 使用する言語: ベンガル語 (英語の必要性も大)。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: B.R.T.C.に初代の協力隊員が配属された当初は、故障して車庫に眠っている車両を動く様にするのが当面の主な任務であったが、現在では、車両を出来るだけ長持ちさせより安全に運行させる為の保守・整備をする事に大きく変わって来た為、仕事の範囲も広くなり、ここ数年で日本車が主流になって来た事もあるし、これから先、車両台数も大量に増やす計画もありB.R.T.C.側としても協力隊員を置く事により色々な面に於て利益につながるという考えを持っている様である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 自動車専門学校又は職業訓練校自動車科卒業程度で、二級ディーゼル自動車整備士及び大型免許を所持して大車に関する整備経験が2年以上あるの○バス営業所に勤務する為、多少なり運行管理方面の知識が必要であるので自動車メーカーのディーラー等の勤務者よりもバス会社又は運送会社に勤務した経験者が適している。

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 57年 8月 21日

調査者氏名 藤 尾 洋

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Automotive Mechanics (日本語) 自動車整備 (オートバイ修理)	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	58年 8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Higher Education (日本語): 高等教育省					
② 隊員勤務先名称: Junior Technical Institute 日本語名称 (職業訓練所) 所在地: Ratmalana 主要都市 (コロンボ) から約12キロ					
③ 事業規模及び内容: 高等教育省は技能者養成のため全国に専科短大、19所、高等職業訓練所8ヶ所、職業訓練所13ヶ所を有す。これら職業訓練所等で半年〜3年間の訓練が行われていふ。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): ラトナー+専科では工作機械、自動車整備、電気関係等技能者養成のため10コースの訓練が行われていふ。この訓練を行うための講義室、実習室がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: オートバイ修理コースの実技指導者					
② 技術の範囲: オートバイ修理に関する実技指導					
③ 業務の形態: 訓練内容は年内科目が週20時間の実習、9時間の講義、他に数学、理科、労働関係、製図、英語等の関連及び一般教養的の講義もある。 隊員は主としてオートバイ修理の実習を担当することになる。 本コースは1983年4月から開設される予定であり、訓練期間は1年以内、 訓練生は1回15人が予定されている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は2年以内の学校教育修了者で入所時18歳以下である。カウンターパートはコース開設時に採用されるか他のコースの例を以て10年の					
⑤ 現地で利用できる機材: 学校教育修了後約5年の経験がある。 同訓練所では現在既に自動車整備コースがあるため自動車整備に必要な工具類は一通り揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し。					
⑦ 使用する言語: シンハラ語が主体 時には英語も必要になる。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 普通教育修了者に対し技能訓練を実施しより多くの雇用機会を創出することと目的にしている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 職業訓練所又は高専卒、実務経験3年以上、整備士3級以上。 ↓ が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 9月 1日

調査者氏名 駒澤彰夫 (馬)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
エチオピア	(現地公用語) Automobile Instructor	(男) / 人	訓練開始 58年 4月
	(日本語) 自動車整備	(女) 人	派遣予定 58年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture
 (日本語): 農業者
 ロ. 隊員勤務先名称: Central Garage 日本語名称 (中央修理工場)
 所在地: Addis Ababa 主要都市からの距離 (よりクキロ)

ハ. 事業規模及び内容:

政府の整備工場では最大級であり、自動車の保有台数も多い。
 整備士 約 80名。 農業者所有者のメンテナンス

ニ. 設備概要: エンジンショップ, エレクトリックショップ, ボディショップ, モーターサイクルショップ,
 シートショップ等がある。 トヨタランドクルーザーのパーツ在庫は国内一である。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 中央修理工場内のトレーニングセンターは、協力隊員により57年1月より始められたばかりであるが、80名近いメカニックのうち約50名の整備助手に訓練を行っている。58年には30名の整備士の訓練を予定している。
- ② 隊員は Instructor の地位である。
- ③ 整備, 電装, オートバイ整備 それぞれのメカニックに対する教育訓練が主であるため、深い知識と技術が要求される。また訓練内容の充実, 新知識・技術の導入 (例えば ディーゼルエンジン等), 各種実習用教材作りなどが必要。
- ④ 20~45歳の整備士及び整備助手が対象。学歴は無学~大卒まで。英語を話せる人は大卒者ほど 10数名のみ。2名のカウンターパートのうち1名は日本研修中 (58年4月まで)
- ⑤ 教科書, 教材は不足から。工具類は一応そろっている。
- ⑥ オ3國人 在
- ⑦ アムハリック語 (センターでの教育はアムハリック語である)
 英語は特に必要としづらいが、出来ればの方がベター。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

隊員の継続的派遣により整備士及び助手のグレードアップが期待されており、将来的には中央修理工場にとどまらず全国各地の農業者メカニック並びに外部者へのトレーニングも計画している。
 アムハリックによる教育は初めてであり、当国政府も深い関心と期待をもって

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): いる。

2年制整備学校卒業で2級カソリン整備士の資格があること。
 実務経験3年以上あることが望ましい。
 電気知識を有していること。
 マスハに於てオートバイの整備講習を受けること。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年4月22日

350 自動車整備

調査者氏名 石川 満男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語) Automobile Maintenance	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 自動車工学	(女) / 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Higher Education
(日本語): 高等教育省

ロ. 隊員勤務先名称: The Jomo Kenyatta college of Agriculture & Technology
日本語名称 (注: ケニア農工大学)
所在地: 主要都市からの距離 (首都より35キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 我国の無償資金協力(約48億円)及び技術協力に基づき新設される四年制大学 農学部3学科(園芸・農業工学・食品加工)、工学部3学科(機械工学・土木建築・電気) 学生数720名、教職員120名
ニ. 設備概要: 建物・内部設備・教職・機械共規模を同じくする我国の大学と同じ水準のものを整備している。

(2) 隊員の業務内容:

① 大学教員 工学部 機械工学科 自動車整備コース

② 自動車(ガソリン、ディーゼル共)に関する基礎的理論及び修理実習指導

③ ケニア人・日本人専門家に全く同様に大学一教員として専門科目を担当

④ 学生は K.C.E 以上(11年以上)、年令 18 才以上 (Kenya certificate of Education 小学校7年中学校4年卒業)

⑤ 本邦より贈送した機械(約11億円)を使用出来る

⑥ ケニア人教職員 80名、日本人専門家 22名

⑦ 英語(講義を全て英語で行う)で特に英語に堪能である事が望ましい

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニア政府は次4次経済開発5年計画で国に必要不可欠な技術者の深刻な不足を痛感し、これに対処する為の職業技術訓練に重点を置いた教育制度の改革を行って来た。本学はその頂点にあつた今般のケニア人の技術者養成及び社会への供給を担う事が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専、短大卒以上

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 57 年 9 月 20 日

調査者氏名

江畑 義徳 

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タンザニア	(現地公用語) MOTOR MECHANIC	新規	(男) 1人	58年9月	
	(日本語) 自動車整備	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF COMMUNICATION AND TRANSPORT, ZANZIBAR (日本語): ザンジバル通信運輸省					
② 隊員勤務先名称: DEPARTMENT OF LAND TRANSPORT 日本語名称() 所在地: ザンジバル市内 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: ランドトランスポート局車両セクションはザンジバル政府所有の公用車を一手に引き受け、保安・管理している。政府用車両は約600両(除ボリス軍)。ワフショップも5.従業員約50名。1ヶ月修理依頼件数約70件。1週間修理は約15件程度。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 中央ワフショップはコンプレッサーを備え、シャシ、エンジン、電気、電装等まで修理可能な設備はあり、工具類及びスペアパーツは少ない。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 赴任後決定					
② 技術の範囲: 政府の公用車はランドローバー、ホルツワグゲン、プロジョー、セドリック(旧) レジドバス、ワフショップがあり、ディーゼン車もかなり多い。					
③ 業務の形態: 中央ワフショップにおいての実際の修理を通じ、技術伝達を実施することになる。車両に用いた基礎的な幅広い技術が要求される。また、船舶港務局から船外機の修理依頼もある。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートはザンジバルのワフショップに27歳(約10年経験)で基礎的な知識がある。					
⑤ 現地で利用できる機材: 一部の工具類、アスファルトは揃っているが、セパレーターや使用可能な600Vはない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 車両セクションにはいない					
⑦ 使用する言語: スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本車両技術をワフショップに技術伝達して欲しい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
① 2級ディーゼン・ガソリン整備工					
② スワヒリ語の基礎知識					
③ 船外機の修理経験があること					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年9月 日

調査者氏名 新田 麻子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	MOTOR VEHICLE MECHANIC	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 自動車整備	(どちらでも可) 人	受入期限 67年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Malawi Housing Corporation (M.H.C.)
(日本語): マラウイ住宅公社

2. 隊員勤務先名称: M.H.C. Workshop 日本語名称 (M.H.C. 自動車修理工場)
所在地: ソチ (トラババ地区) 主要都市からの距離 (より キロ)

事業規模及び内容: 日本の住宅公社に相当する機関で、年間300戸程度のカーポートハウスの建設並に主として賃貸住宅の建設管理を行なう。

3. 設備概要: (2)の引用による機材参照。

(2) 隊員の業務内容: M.H.C.で使用している約90台の車両のうち、マラウイで使用する40台と他に地方別車はM.H.C.の車両数10台の定期点検と車検、及びエンジン等3-類のオーバーホールを行なう。

4. 業務上の地位: Technical officer

5. 技術の範囲: 同公社所有の車両のうち約70%は日本製(1100ccのピックアップ、ダットサン7.フルバード、トヨタ2000cc、日野4セ1300cc、トヨタ4セ1300cc、トヨタ1-977cc等)であるが、50cc系、ベンツ、ジプシー等も扱っている上、ガソリンエンジンの西側車も12. 技術範囲は広ければ広いほど良い。

6. 引用する機材: 手工具、ドリル、ドリル機、コンプレッサー、クワイール、エンジンリフター、電気酸素溶接機、バッテリー。

7. 所属同人: JOCV 隊員9名。

8. 言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本企業隊員の支援。

同隊員で2代目である初代の若峰隊員は10%に転勤され、現在は1名となっている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高卒以上
○ガソリン エンジン 整備士2級

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

380
388 自動車整備

記入昭和 57年 4月 10日

調査者氏名 三川 謙

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガ-十	(現地公用語) Motor Mechanic	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 自動車整備	(女) 1人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ghana Police Force

(日本語): ガ-十警察

ロ. 隊員勤務先名称: 中央17-722222

日本語名称 ()

所在地: ACCRA

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

約 20名の修理可能な Workshop.

ガ-十人車修理士 30人勤務 (含む生員)

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

○ ガ-十警察が使用する自動車 300台 (5000) の整備・修理に従事し、同時に他の技師に指導する

○ 10-11不足による 10-17 自動車の修理等の技術が普及する (10-11の再生)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 自動車整備士 (日本語)

経験4年以上が望ましい (日本語)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 9 月 20 日

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
西サエ	(現地公用語) Automobile Maintenance (日本語) 自動車整備	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	58 年 7 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Public Works Department (日本語): 公共事業局					
② 隊員勤務先名称: サイテレ 自動車整備工場 所在地: アロア 日本語名称() 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 従業員約 200 名の自動車整備工場					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): エンジン 板金 電装 各部門とも相当整備されている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 自動車整備士					
② 技術の範囲: ディーゼルを主とした自動車整備全般					
③ 業務の形態: 現場型勤務で、自から整備に従事することと、西サエ人整備士の技術指導を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートは相当多数であり学歴は中卒程度、年齢は多岐にわたる。					
⑤ 現地で利用できる機材: 必要の機材は現存している。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 工場にはオーストラリア人技術者が協力隊員 3 名が配属されている。					
⑦ 使用する言語: 英語、西サエ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 西サエで使用されている自動車の大部分は日本の各社製であり、協力隊員の指導で西サエ人整備士の技術の向上が要請の強いところ。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 二級 ガソリン、ディーゼル整備士					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57 年 8 月 10 日

調査者氏名 遠藤 賢司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
1. パプア 2. ニュージーランド	(現地公用語) Automobile Maintenance	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 自動車整備	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Works and Supply : DWS
(日本語): 公営事業者
2. 隊員勤務先名称: Education and Training Branch 日本語名称 (教育訓練部)
所在地: Port Moresby 又は Rabaul 主要都市からの距離 (より キロ)
3. 事業規模及び内容: 総合訓練生 (Apprentice) に対する教育訓練コースの開設
あり。
4. 設備概要: 訓練に必要な機材は視察所持品も含め一式揃っている。

(2) 隊員の業務内容: 自動車整備部門の教育訓練コースをオーガナイズするトレーニングコーディネーターとしての業務にあたる。数州を対象とした訓練に際し、各州の自治体との協議、トレーニング効果の査定なども業務となる。このため、高度な語学力 (英語) が要求される。
トレーニングコースをオーガナイズする場合は、指導要綱の作成、指導員 (インストラクター) の選定、受講生 (対象州) の選定などを担当。

1. 業務上の地位: トレーニングコーディネーター (Training Coordinator)
2. 経験・範囲: 自動車整備訓練の実務経験、業務上の協議がスムーズなだけの高度な語学力 (英語) が要求される。
3. 業務の形態: トレーニングコースの指導要綱作成、指導員の選定など、オーストラリア中心。
4. 使用する言語: 英語
5. その他: 本部、ラバウル以外に赴任する可能性がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 最も需要の高い自動車整備士の養成に於て、非常に効果的な訓練が行われていないこと及び、日本の職業訓練法に期待が大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
2. 職業訓練教育の実務経験があること。希望あり。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和57年 9月 29日

調査者氏名 岩本文男 遠藤 賢

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
P.N.G.	(現地公用語) Automobile Maintenance (electrical)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 自動車整備士(電装品)	(女) / 人	派遣予定 58年 10月
		(どちらでも可) 人	受入期限 58年/0月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Works & Supply
(日本語): 公共事業省
- ロ. 隊員勤務先名称: Newtown Training Center 日本語名称 (訓練センター)
所在地: Port Moresby New Britain 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要: 教材・工具等はかたりそびている。

(2) 隊員の業務内容:

1クラス10~15人位の単位で3クラスはメカニックコース 1クラスは電装コースがあり電装コースを受け持つ事になります
日課は下記のごとく
7:45~12:00 講義 12:00~13:00 昼休み 13:00~16:00 実習

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

日本の車両がほとんどでインストラクターが不足の為、
日本車の
岩本文男 隊員(56年2次)の交替要請

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

二級がソリン、二級ディーゼル、電装自動車知識ある者 英語力○かかたりある者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 9 月 20 日

調査者氏名 江畑 義徳 (江畑)

400 土木設計

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タンザニア	(現地公用語) CIVIL ENGINEER	新規	(男) 1 人	58年 9月	
	(日本語) 土木技師	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF LAND, CONSTRUCTION AND HOUSING, ZANZIBAR
(日本語): ザンジバル建設・住宅省
- ② 隊員勤務先名称: DEPARTMENT OF CONSTRUCTION & MAINTENANCE 日本語名称 (建築保守局)
所在地: ザンジバル市内 主要都市 () から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 日本と同村役所の規模であるが、設計・建設・土地・保守・管理等の各部署に分かれ、職員数は約200名、同省はザンジバル・ペンバ島を含む公共建築物の設計・計画業務を担っており、引き継ぎ中。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 本要請の HEAD OF DESIGN SECTION は建築設計・測量・土木設計等があり、設計に必要な製図機材は揃っているが、完全ではない。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: EXECUTIVE ENGINEER 下の CIVIL ENGINEER
- ② 技術の範囲: ① ザンジバル市の配水システムの改善指導及び新配水システムの設計・構造計算 ② 現場の技術者に構造設計の指導 ③ ザンジバル・ペンバ島上の土木建設の助言にもなる。
- ③ 業務の形態: 通常省内に勤務するが、ザンジバル市と対称・調整・設計の参加と、現場出張もある。
[同省は1954年に設置した約1000戸帯の配水設備の維持と、壊れと改善のために住民の危険・要望があるため、これに伴って建築した住宅には現場での設備とあり、未配水地域と併せて設置が望まれている。]

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートは派遣後決定とするが、ザンジバル人技師は技術専門学校卒者が多い。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 設計機材等は揃っているが、計算機やセオトラ等持行する必要がある。

- ⑥ 第3国人等の配置状況: インド人 20名、ドクトル 1名、専門家のみ
- ⑦ 使用する言語: スワヒリ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 上述のように配水システムの改善が急がれており、特に要請隊員は則ち戦力になるとしている意向である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ◎ 大学専門学科卒
- ◎ 実務経験が4年以上 (特に上下配水システム設計の経験があれば申し分ない)

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57年 9月 1日

調査者氏名 駒澤 彰夫 (印)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
エチオピア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 58年 4月
	Road Engineering	(女) 人	派遣予定 58年 8月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
道路設計			

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Urban Development and Housing*
 (日本語): 都市開発住宅省

□. 隊員勤務先名称: *Town Planning and Land Administration* 日本語名称 (都市計画土地管理局)
 所在地: *Addis Ababa* 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

エチオピア全土の都市開発及び住宅開発
 都市計画土地管理局のスタッフ数は約90名

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 都市開発計画に沿った総合的の道路網計画、市街区の道路設計、排水システムの設計などが主な業務であるが、施工契約に伴う見積書や仕様書のチェックなど広範囲な仕事となる。
- ② 隊員には特別な地位は与えられないが、現地の道路エンジニアやカウンターパートと一緒に仕事をする必要があり、地位は比較的高い。
- ③ 設計が主業務となるが、その他施工、契約、法律など中広の知識と経験(応用力)が求められる。
- ④ 現地の技術水準は低い。
- ⑤ 必要の機材は一通揃っているが、隊員が赴任後更に必要と思われる物を追加機材として申請すれば良い。
- ⑥ 使用言語は英語
- ⑦ 男子3人、女子1人。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

輸送手段のほとんどを車輛に頼っている当国は、全国の道路網を整備することが急務となっている。中広の応用力のある隊員が望まれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒 (土木部、道路関係) 1～5年の経験
 高卒 (土木学科) 4～5年の経験

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 56年 6月 30日

404 上下水道設計

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Civil Engineering Design	(男) / 人	訓練開始 57年4~6月
	(日本語) 上水道設計技師	(女) 人	派遣予定 57年8~10月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- 1. 配属先名称 (現地公用語): Office of The Prime Minister
(日本語): 総理府
- ロ. 隊員勤務先名称: Kitwe District Council 日本語名称 (キトウエ市役所)
所在地: P.O. Box 22495 Kitwe 主要都市からの距離 (ルサカより350キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: Kitwe市役所には5局(土木・保健・住宅社会事業・財務書記)があり、土木局は更に9 section (上水道・計画・設計・消防・下水道・道路・車輜工場・統務電気) からなっている。市の人口35万、住宅数5万4千戸のザンビア第3の都市である。
- ニ. 設備概要: 業務遂行に必要な機材はすべてある。昨年総額65万 Kwacha (約2億円) で新しい貯水槽(許容量500万ガロン)が完成、続いて250万 Kwacha (約7億円) で新しいパイプラインと、2つのポンプ場と、貯水槽が作られた。既存のものとしては貯水槽(250万ガロン、2槽)高架貯水塔(25万ガロン1塔)など、上水道に関する設備は整っており稼働している。

(2) 隊員の業務内容: 隊員は新しい上水道建設に伴う現場調査、関係諸設備全般の計画・設計にあたる。また既存の設備の改良設計にも当る。

- ① 隊員の業務上の地位: 上水道設計技師
- ② 技術の範囲: 新しい上水道建設の計画設計・調査に関する豊富な知識と実務、又既存の設備の改良に伴う設計
- ③ 業務の形態: 現在2名の設計技師とその下に16名の設計助手がおり、業務に当る。
- ④ カウンターパート: 16名のザンビア工科卒の基礎的な知識を身につけた技術者が隊員のアシストにあたる。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 業務遂行に必要な設計機材は一通揃っている。
- ⑥ 職場におけるオ3国人: 土木局長(アメリカ黒人)、インド・スリランカ人コントラクター多数
- ⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: キトウエ市の急激な人口集中化に伴って上水道供給設備が追いつかない状況にある。市としては関係国際機関等の協力のもとに新しい上水道設備を計画中であり、少い予算と物不足の現実を踏まえた上で、当国にとり最も効率の良い上水道設備の斬新な Idea と Plan、設計をゆが volunteer に大きく期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大卒(土木工学科専攻) ○、実務経験5年以上 ○

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 57 年 8 月 30 日

調査者氏名

藤 元 洋

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Soil Testing	新規 交替	(男) 1 人	58年8月	
	(日本語) 土質検査		(女) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Local Government, Housing and Construction (日本語): 地方政治, 住宅, 建設省					
② 隊員勤務先名称: Urban Development Authority 日本語名称(都市開発公社) 所在地: Colombo 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 201本及び地方都市の再開発, 産業地区の開発, スム街の整備, 201本近郊の新行政地区設置, 都市における環境整備等についての計画及び 民間業者の開発申請の審査を行っている					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 土質検査所にはUNDPからの援助により各種機械が 設置されている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 土質検査の技師					
② 技術の範囲: 建築物を建てよために必要な土質の検査を行う					
③ 業務の形態: 現在都市開発公社の土質検査所では、建築物を建てよために に必要な土質の検査を行っている。1/Aに約250のサンプルが 採取される。土質検査所には、3人のラボテクニシャン、2人のフル タイムが作業にあっている。 隊員は、現地のラボテクニシャンと共に土質の検査にあたる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: ラボテクニシャンは10年の学校教育修了者, 経験3~4年, 年齢25~30才					
⑤ 現地で利用できる機材: 土質検査に必要な機材は一通り揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: UNDP専門家(1人、土質検査所の責任者)					
⑦ 使用する言語: 英語 シンハラ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
現在ラボテクニシャンが不足しているため、分析結果の精度 を高めよために要請されたのである。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
高専卒以上、 <u>経験3~4年</u>					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57年 7月 5日

調査者氏名 平沢昭男

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Civil Engineering (日本語) 土木施工	新規 交替	(男) ① 人 (女) 人 (男女不問) 人	57年 1月 又は 4月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Kedah Regional Development Authority (日本語): ケダ州開発委員会					
② 隊員勤務先名称: Kedah Regional Development Authority 日本語名称(ケダ州開発委員会) 所在地: Jalan Tanjun Ibrahim, Alor Setar, Kedah 主要都市(ケダ州州都)から約500キロ					
③ 事業規模及び内容: 設けられた1年未満の機関である。Ministry of Land and Regional Developmentに属し、ケダ州に特に政府直系に与る開発の意思と協定及び地域社会の開発を担っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 現在は委員会本部にのみ備えられている。現場に設備はない。新事務所は明年完成の予定。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Technical Divisionに配置され、副委員長直属の施工技師になる。					
② 技術の範囲: 道路、橋梁、家屋、小規模工場の施工が主である。例えは3名のうち2名が道路(コンクリート橋を含む)、1名が家屋(高層ビル建築)に特化したコンクリート、壁部分以外のコンクリートの施工。					
③ 業務の形態: 担当は必ずしも配分は無い。施工と測量の両方を担当する。測量の技術も必要である。 - ケダ州の都市部には事務所がない。出張しての業務。測量現場への出張は多い。上記の道路、橋梁等は大規模なものばかり。特に家屋、工場の建築水準は日本より低く、緩い。ランカウ、島を含む州内各地の定地、道路開発のプロジェクトの施工管理が業務に含まれる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現職エンジニアと呼ばれる人材はあまりいない。32才、大学卒。					
⑤ 現地で利用できる機材: 測量業務に必要な機材はすべて現地で用意される。					
⑥ 第3国人等の配置状況: UNDPを通じて複数の専門家が配置される予定。					
⑦ 使用する言語: マレー語(英語も必要だが必要では無い。マレー語に十分勉強してほしい)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本国では道路、橋梁、一般建築物の建造はJKR(公共事業省)に担当しているが、国道(主要国道)沿いの主要な目的は建設に集中し、幹線道路から遠くは小規模な建設に集中している。この委員会には主に国内の開発から建設と小規模な州内各地の開発を担っており、建設の新技術の技術者も不足している。この協力要請がある。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学土木科卒、経験2-3年以上、測量(補) 中小の工事と種々異なる経験していることが望ましい。運輸用車免許(公用交通手段で提供される)は必要ではないが、何ヶ所も現場を走る必要があるので小回りがよい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 9 月 4 日

調査者氏名

410 土木施工

中垣長明



受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) Civil Engineering (日本語) 土木	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) / 人	58 年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): The University of Zambia (日本語): ザンビア大学					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称() 所在地: LUSAKA 主要都市(市内)から 8 キロ					
③ 事業規模及び内容: ザンビア大学は 1966 年設立、同国唯一の総合大学(国立)、8 学部よりなり。(社会科学、自然科学、教育学、法学、工学、金庫小学、農業、医学) 学生数は約 4,000 人、3つのキャンパスがあるが、隊員はその内中の Lusaka キャンパス勤務					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 工学部は、土木工学、機械工学、電気工学の 3 学科よりなり。土木工学の専攻は、河川橋梁土木工学にて専攻。同学科は、構造、物性実験、					
(2) 隊員の業務内容 流体、水力学、土壌、測量等に用いる実験室を有している。					
① 隊員の業務上の地位: Teaching Assistant (講師あるいは講師補佐に相当)					
② 技術の範囲: 土木に関する充分な知識・技術が必要					
③ 業務の形態: 隊員は、工学部の土木工学科に勤務する。同学科は 13 人の academic staff と 7 人のテクニシャンを擁しているが、これらスタッフと協力しながら、土木関係科目の実習を中心に授業を指導する。また、学生に課せらるる project study にも関与・指導することもある。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大学生(4年および5年生)					
⑤ 現地で利用できる機材: 必要の材料はほとんどそろっている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 数人の外国人スタッフ					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 教授およびスタッフの絶対数不足に悩んでいる。これは、各学部・学科の科目数拡大と、教授内容の充実を進めている同大学に於いて、現地の問題の一つであり、教授(professor, assistant professor 2人ほど)多くの外国人(主に)クラスは個人で人材を得ているが、講師(特に実習、研究等を受け持つ講師あるいは助手の補佐)クラスの人数が不足しており、JOCVに協力をお願いしている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○ <u>大学生あるいは大学生と同等の学歴</u> (高卒生は5年以上の実務経験、測量士の測量士補の資格)。大学生は1~2年の実務経験も有るとよい。 (高卒生 academic staff は全員修士以上、修士は Diploma の資格も有る)					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

410 土木施工

記入昭和 56 年 6 月 1 日

調査者氏名 中野勝安(金内)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガナ	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Civil Engineer	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
土木施工			

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Tema Development Corporation

(日本語): テマ開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: Tema Development Corporation 日本語名称 (テマ開発公社)

所在地: TEMA

主要都市からの距離 (クワより 30キロ)

ハ. 事業規模及び内容: テマは港、工場、住宅を誘致した計画都市であり、テマ開発公社は区画整理、道路の設計、施工、住宅供給により、テマの都市づくりを進めている

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

仕事は新しく開発する地区における道路、排水溝、下水路、構造物の測量、設計、施工、監督であるが、各自が自分の得意とする分野に従事すればよい。

1. 隊員の業務上の地位は、開発部一技術課一設計係である

2. 技術の範囲としては、道路、下水、測量、鉄筋コンクリート構造物のいずれかを習得していること

3. 技術課長より仕事をもらい、各担当と打合せをし、資材を調達し、図面を作製し、もしくは処理して報告する

4. 技術者は少ないが、測量を行なう者、図面を描く者などはかなりいる。なお協力隊員の推薦により2人の技術者研修員が日本に行ったことがある。

5. 測量器具、製図台はあるが、自動車の手配はむずかしい

6. 現地人職員の外は協力隊員が3名いるだけである

7. 英語が非常によく通じる

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高校、大学もしくは専門学校で土木工学を専攻していることが望ましく、実務経験2年以上。特に必要な資格は無いが土木施工管理技士、測量士があれば良い。英語がある程度話せること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 9月 15日

調査者氏名 リマ事務所

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ペルー	(現地公用語)	(男) 5 人	訓練開始 年 月
	Ingeniería Civil	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
土木施工			

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Sistema Nacional de Cooperación Popular

(日本語): 全国人民協力機構

ロ. 隊員勤務先名称: 国内各地の地方事業センターを巡回する (日本語名称: —)

所在地: ことにより一定しない。 主要都市からの距離 (一より一キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 大統領に直属する機構で長官は企画庁長官が兼任している。

リマ市に本部を有し、現在国内約50ヶ所に地方事業センターを擁す。
(将来的には153ヶ所に増設予定) 各センターには技術者等約15名が

ニ. 設備概要:

配置され、管轄地域内の住民が自主的に行動とする各種の公共事業に対し、資金・技術の両面から側面的に援助・指導を行う。

(2) 隊員の業務内容:

これにより開発の遅れた地域の振興を、当該地域住民の自主性を尊重しながら促進しようとするのが、この組織の事業目標となっている。

① 隊員の業務上の地位: 地方事業センターにおける技術顧問として、各種の工事を直接指導する。それを通じて地域住民の人材育成及びペルー側技術者への技術移転を行う。複数の隊員でグループ行動をとる予定。

② 技術の専用 ② 道路・橋梁の設計・施工及び補修 (3名)

① 上下水道の設計・施工及び管理 (2名)

いずれも郡部における中・小規模の工事 (砂利道、木橋 etc) が主体となるが、限られた専門知識よりは、幅広い知識と豊富な現場経験が要求される。

③ カウンター・パート: 特定のカウンターパートは居ないが、各センターに配置されているペルー側技術者と協力して業務を行うことになる。

④ 利用し得る機材: 計画では各センターに、ブルドーザー、タンカー、小型トラック、コンプレッサー、ミキサー、モーターポンプ、空気ハンマー、測量機器等が配置される予定。

⑤ 使用する言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現ペルー政府が国家再建計画の一環として開発の遅れた地方の振興を図るために、その具体的な実施機関として復興したのがこの全国人民協力機構である。その活動はマスコミ等に大きく取り上げられており、今後とも益々活発に展開して行くものと予想されるが、核となる技術者が不足している状況にあるため JOCV 隊員の派遣が要請されることである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 大卒 実務経験3年以上 (または) 専門の高校卒 経験5年以上 ② ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ 健全な体力と精神力を、自動車運転免許、大型建設機材の操作が出来ることが望ましい。

4. 4-1 を組む際の活動となるので、協調性のある人物

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 5 年 2 月 27 日

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
IT=ア	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	測量	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture
 (日本語): 農業者

ロ. 隊員勤務先名称: _____ 日本語名称 (_____)

所在地: _____ 主要都市からの距離 (_____ より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

キスムを中心としたビクトリア湖周辺の農用地帯に
 水稲適地を造成・かんがい排水計画

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 測量工
- ② 地形測量が主
- ③ 農業用地可能地の測量と製図
- ④ 専門の測量士はいない未経験の助手
- ⑤ 英国製 独国製の機器がある
- ⑥ なし
- ⑦ 英語 現場では部族語 (ルンダ)

(3) 受入希望の背景と受入後の期待:

IT=ア国内に比較的人口集中によるビクトリア湖周辺
 には人口増加と共に農用地の新規開墾を必要と
 あり 生産性の高い水稲作体の適地等の測量・製図が
 成ることを期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

測量工補以上

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 57 年 9 月 23 日

調査者氏名

江畑義徳 

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タンザニア	(現地公用語) LAND SURVEYOR	新規	(男) 1 人	58 年 月	
	(日本語) 測量	交替	(女) 人		
			(男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF LANDS CONSTRUCTION AND HOUSING, ZANZIBAR
(日本語): タンザニア 建設 住宅省
- ② 隊員勤務先名称: DEPARTMENT OF LANDS AND SURVEYS 日本語名称 (土地測量局)
所在地: タンザニア 市内 主要都市 () から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 土地測量局は都市計画、土地測量課等4つのセクションから成り、30% 予定道路、その測量、20% 土地登録の土地測量等の業務を履行している。
(設計) 職員数約 50 名
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 住宅、工場等政府・建築物の測量のための測量機材は一通揃っている。土地測量課の職員 10 人

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: LAND SURVEYOR
- ② 技術の範囲: ① 予定道路、工場等政府建築物の測量の主な業務で30%、ハウジング・サービス等の。② 土地登録システムを運用しているため、20%の土地測量の業務
- ③ 業務の形態: ほとんど外での業務となる。

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者のうち多くはデプロイ後はナショナル・サービスを受けている。カウンターパートは熟練技師

- ⑤ 現地で利用できる機材: セオドライト、EDM、レベル、テープ等

- ⑥ 第3国人等の配置状況: 西沢 1 人 (エンジニア) 将来 英の GDP 4 千 6 百 万 円 の 成長 を 望む

- ⑦ 使用する言語: スワヒリ語

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: この分野における人材不足と、ペニンシュラを合わせたランドレジストレーション コーポレーションの業務量が大きいこと。また、日本の測量技術者を導入して欲しいとのこと。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 専門学科学大卒 測量士
- ② 実務経験 2 年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57 年 3 月 日

420 測 量

調査者氏名 長倉 孝

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) SURVEYOR	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 測量	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works & Supplies

(日本語): 工業補給省

ロ. 隊員勤務先名称: Design Department

日本語名称 (設計局)

所在地: Lilongwe

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 当設計部ではマラウイにおける土木構造物(道路、橋等)の設計、計画調査を行なう本部であり、隊員はマラウイの Survey Section に配属となる。ここでは Central Region の道路測量、Capital City における市街測量を中心に 4 名の測量士が業務上携わっている。

ニ. 設備概要: スイス WILD 社の測量器具を中心に業務に使用する道具は全て整っている。その他、英国製、日本製(協力隊に貸与)のものがある。

(2) 隊員の業務内容:

・業務上の地位: Technical officer (T.O.)

・技術の範囲: 道路測量、市街測量に用いる測量技術一般

・からりター-にて、マラウイ大学、Polytechnic を卒業して 22.70-7 (280) である。

・中二国人のいない。

・使用言語: 英語、チエワ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

55/4 赤羽敬治隊員の交代。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 測量士補以上

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

朝田 4/13

記入昭和56年9月 日
調査者氏名 新田 慶子

受人希望国名	受人希望業種 (現地公用語)	受人希望人数	派遣予定
マラウイ	SURVEYOR (日本語) 測量	(男) / 人	訓練開始 年 月
		(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works & Supplies
(日本語): 工業省

ロ. 隊員勤務先名称: Design Department 日本語名称 (設計局)
所在地: プラザ行 主要都市からの距離 (より キロ)

事業規模及び内容: 設計課・測量課・施工課の3課あり。

ニ. 設備概要: トウニメント: T.v, T.a (1社以外), 測距儀: CD.6 (1kmまで可能) スタルテプ 30m (伸縮式)

(2) 隊員の業務内容:

- ・業務上の地位: P.O. (Professional Officer)
- ・仕事の範囲: トウニメントの定員、測量(測角、測距、計算)、現地線形打設の計算、及び打設
- ・業務の形態: 測量士1人に人夫5~6人付き、キャンプ生活。プラザ行のオフィスには月1度帰り、仕事が終われば、その仕事の内容報告を行なう。
- ・カンパニーは無い。人夫はトウニメントごとに設置してある程度、年令20~40。

語: 主に英語

(3) 受人希望の背景と受入国の期待: 沿岸忠臣隊員の交代。

早稲7年生産のほと人とのため、心身共に強靱であること。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○測量士補以上

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 57 年 9 月 4 日

調査者氏名

中垣長 目



測量

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) Mine Surveying (日本語) (鉱山測量)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	58 年 月	
(1) 配属先 <u>ザンビア 採銅</u>					
① 配属先名称 (現地公用語): The University of Zambia (日本語): ザンビア大学					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 () 所在地: LUSAKA 主要都市 (市内) から 8 キロ					
③ 事業規模及び内容: ザンビア大学は 1966 年設立、同国唯一の総合大学 (国立)、8 学部よりなり。(社会科学、自然科学、教育学、法学、工学、鉱山工学、農業、医学) 学生数は約 4,000 人、3つのキャンパスがあるが、隊員は市内中心の LUSAKA キャンパスに勤務					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 鉱山工学部は、鉱山工学、冶金、地質の3学科がある。鉱山工学と冶金学科は近くに大学院を設けている。鉱山工学部には、鉱山環境と岩石材料に関する2つの実験室がある。特に鉱山モデル室もある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Teaching Assistant (講師あるいは講師補佐に相当)					
② 技術の範囲: 鉱山についての一般的知識および、測量 (特に鉱山測量) の知識、技術を豊富に持っている。					
③ 業務の形態: 隊員は鉱山工学部、鉱山工学科に所属し、鉱山測量に関する科目で academic スタッフ、テクニシャンと協力しながら、同学科学生の実験室実習、フィールド実習等を指導する。また必要に応じて調査研究にも補佐として従事する。鉱山測量はもとより採銅と関連したものである。Mine Surveying の授業の中心の約 80% は測量 (一般) 測量に関する知識であり、残り 20% くらいは採銅と関連する知識である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大学生					
⑤ 現地で利用できる機材: 必要の材料はほとんどそろっている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 外国人、教授 (UNESCO 派遣) 1人、助教 1人、講師 1人、					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 教授とスタッフの絶対数が不足に悩んでいる。これは各学部、学科の科目数拡大と、教授内容の充実を進めている同大学にとり重要な問題の一つであり、教授 (professor, assistant professor などは多くの外国人がいる) クラスは4人とか人材を待っているが講師 (特に実習指導等を兼ねた講師あるいは助手の補佐) クラスの人材が不足しており、JOCV に協力をお願いしている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ○ 大学卒あるいは Diploma の学歴 ○ 2-5 年の実務経験が必要 ○ 測量の一般測量に関する知識 ○ 鉱山 (採銅) に関する知識が必要である。					

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 9 月 4 日

調査者氏名:

中垣長睦



受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) Land Surveying	新規	(男) 人	58年 月	
	(日本語) 測量	交替	(女) 人 (男女不問) 1 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): The University of Zambia
(日本語): ザンビア大学

② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称()
所在地: LUSAKA 主要都市(市内)から 8 キロ

③ 事業規模及び内容: ザンビア大学は1966年設立、同国唯一の総合大学(国立)、8学部よりなり、(社会科学、自然科学、教育学、法学、工学、金庫小業、農業、医学)等々約1200人、3つのキャンパスがあるが、隊員は市内中央のLusakaキャンパスに勤務

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 工学部は、土木工学、機械工学、電気工学の3学科よりなり、土木工学の土地測量は12〜13年かけて周備しはじめ、10人の実習生を受け入れる予定、400m²の測量

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: Teaching Assistant (講師あるいは講師補佐に相当)

② 技術の範囲: 測量に関する知識・技術が必要
(工学部の土木工学に相当)

③ 業務の形態: 隊員は、同学科のacademicスタッフおよびティニシヤンとして働き、から、実習をorganizeし、また、実習を実際に指導することから中心となる。1972年にland surveyingの科目が始まるので、まだV:4から113Vと改善していかなくてはならぬ、実と多くあることが予想され、113Vと企画、運営にも要する面があると予想される。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

大学卒

⑤ 現地で利用できる機材: 必要の材料はほとんどそろっている。

⑥ 第3国人等の配置状況: 多くの外国人academicスタッフ

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 教務スタッフの絶対数不足に悩んでいる。これは、各学部、学科の科目数拡大と、教授内容の充実を進めている同大学にとり、陣の1つの問題の一つであり、教授(professor, assistant professor 2人ほど)多くの外国人が、(1)クラスは4人から5人程度で、(2)から講師(特に実習指導等を受け持つ講師あるいは助手の補佐)クラスの人数が不足しており、TOCVに協力をお願いしている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒 あるいは、大学卒と同等の学歴(高専卒 5年 以上の実務経験
(測量士の資格) 測量士補) 大学は 1-2年の経験を有する必要がある。

※ (at academic スタッフは全量修士以上、ティニシヤンはDiplomaの資格を有す) 225

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57年 8月 30日

調査者氏名 藤 卷 洋

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Town Planning (日本語) 都市計画	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	58年8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Local Government Housing and Construction (日本語): 地方政治・住宅・建設省					
② 隊員勤務先名称: Urban Development Authority 日本語名称(都市開発公社) 所在地: コロンボ 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: コロンボ及びその地方都市の再開発, 産業地区の開発, スラム街の整備, コロンボ近郊の新行政地区設置, 都市における環境整備等についての計画及び民間業者の開発申請の審査を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 業務の性質上 都市開発公社の事務所では事務的な業務を行い, 情報の収集等は関連地域に出向いて調査することになる。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 都市計画の技師。					
② 技術の範囲: 都市再開発及びその近郊の新行政地区設置等に関する地域計画及び計画作成のための基礎データの準備。					
③ 業務の形態: 都市開発公社は上記(1)-(3)の通り多くの事業を手がけているが, 隊員が主たる業務はコロンボ近郊にて現在進められている新行政地区設置のため各地の現状を調査し, 建築物を建てようとする場合, 建築基準に従ったどの様な建物にすべきか, 民間業者等から建築及び開発計画がある場合の審査の基礎的データを提供する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 建築関係の大学卒業後9ヶ月コースの都市計画についての訓練終了者の20人が実務的な業務を担当している。(Planning officer)					
⑤ 現地で利用できる機材: 製図機等は一通り揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: UNDP 専門家が教育訓練(スタッフ), スラム街開発, 土壌検査, 建築等の分野に活動中					
⑦ 使用する言語: 英語及びシンハラ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 都市開発公社には8人の都市計画専門官がいるが, これらの人は現在進行中の計画の審査等で新しい計画の作成に従事できずにいる, 新しい計画についての調査活動は8人の専門官の下にいる Planning officer があるといふが, 隊員はこれらの officer と共に活動することか期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 1級建築士, 都市計画について2年以上の経験があること。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 9月 1日

調査者氏名 駒澤 彰夫 (駒沢)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
エチオピア	(現地公用語) Town Planning	(男) / 人	訓練開始 58年 4月
	(日本語) 都市計画	(女) 人	派遣予定 58年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Urban Development and Housing
(日本語): 都市開発住宅省
- ロ. 隊員勤務先名称: Town Planning and Land Admini-日本語名称 (都市計画土地管理局)
所在地: stration Addis Ababa 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容:

エチオピア全土の都市開発及び住宅開発
都市計画土地管理局のスタッフ数は約90名

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 市街地の開発計画作成が主な業務であるが、同局内のカウンターパートをはじめ現地スタッフに対しては指導的立場にあり、単に計画作成のみならず、総合的政策、都市開発に伴う法律や規則などを含む全般の助言、調査を求められる。
- ② 隊員には特別に地位は与えられないが、チーフタウンプランナーのアドバイザーの立場となる。(地位は高い)
- ③ 一種類の専門的知識よりも中広い知識と経験が欲しい。
- ④ 現地の技術水準は低い。
- ⑤ 設計等に必要は人材は一定そろっている。
- ⑥ 使用言語は英語
- ⑦ イタリア人、ブルガリア人、ハンガリー人 各1名がいるが、近くイタリア人1名を除いて帰国する。(設計専門家)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

東欧諸国の専門家も契約終了のに伴い、日本の技術と特に期待されて要請される。新しい街づくり、都市の再開発は重要な事業であり相手国の期待も大きい。中広く応用のよく隊員が望まれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大卒 経験 1~3年

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 9 月 20 日

調査者氏名 江畑 義徳 (江畑)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タンザニア	(現地公用語) TOWN PLANNER	新規	(男) 1人	58年 9月	
	(日本語) 都市計画	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF LANDS CONSTRUCTION AND HOUSING ZANZIBAR
(日本語): ザンジバル建設省
- ② 隊員勤務先名称: DEPARTMENT OF LANDS AND SURVEYS 日本語名称 (土地測量局)
所在地: ザンジバル市内 主要都市 () から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 土地測量局は都市計画、土地測量等のセクションから成っており、住宅、道路、村営用水、灌漑等の測量、土地の登録のための測量等の業務を履行している。職員数約 50 名。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 都市計画課はスケッチャー、机、製図等揃っている。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: TOWN PLANNER
- ② 技術の範囲: ① 家屋、ビル設計の調査、リアクト ② 道路、庭園、調査、リアクト
③ 上記業務はメンバー島を含み、アシスタントプランナーに付いた経験等
- ③ 業務の形態: ほとんど本省でのリアクト業務となる。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: アシスタントプランナーのカウンターパートで、土木系の学校卒、ドラフスマンが対象者となる。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 簡易な測量機器及び製図用具は一通揃っている。

- ⑥ 第3国人等の配置状況: 現地 2人 (ポリアニア)
- ⑦ 使用する言語: 英語
- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 全島にわたって人材の絶対的不足と技術不足から、現地のエンジニアが来年度切迫していることから、本要請を行った。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学(専攻学科)卒
2. 実務経験(村営開発計画)2年以上

※ 事務局記入

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

交際申請

記入 昭和57年 4月 11日

調査者氏名 石谷茂樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 57年12月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 58年3月
	建築	(どちらでも可) 人	受入期限5年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works Drawing office
 (日本語): ケニア 建設省

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (設計課)
 所在地: P.O. Box 17 NYERI. 主要都市からの距離 (ナイロビより150キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

小規模なスタッフハウスから、学校、病院などの設計時には、現場監理。しかし特別大規模なものはない。

ニ. 設備概要: ほとんど必要と思われた物は整っている。

(2) 隊員の業務内容:

ワークスプログラムに有る Government 仕事の他に、飛込みで入る Urgent Work. そしてスタッフの養生と仕事は多忙だが、HEAD (NAIROBI) に比べると比較的、自由な仕事が出来ると言うのは、他方に入れば自ずと Top の地位につく為、それなりの責任は有るが仕事の分配も自分で出来る様になり自分が納得できるまで仕事に打ち込む事が出来る。現在、私は、新しい NYERI の M.O.W Building の設計をほとんど終え、今度はその建築模型の製作に取りかかっている。もちろん、その間にも小さな仕事をかたづけながらでは有るが、時には現場に出て現場打合せも必要で有る為出来れば現場の方にもくわしい人であればなおさらで有ると思う。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

今のところ NYERI M.O.W には三人の Architect (P.W.O を含む) が居るがその内二人が J.O.C.V で有る。それも来年度4月に私が帰国するのと同じ時、下れも Drawing office を見つけるべく、P.W.O からの強い要請が有る。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 設計監理が出来、2級建築士又は1級の方。
- 経歴 3年以上の方。
- 気の長い人。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9月 21日

神奈川の建築

調査者氏名 江畑 義徳 (江畑)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定	
タンザニア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始	年 月
	ARCHITECTURE	(女) 人	派遣予定	年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 5年10月迄に現地到着のこと	
<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">建築</div>				

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): **MINISTRY OF WORKS**

(日本語): **建設省**

2. 隊員勤務先名称: **NATIONAL ESTATES AND DESIGNING COMPANY** (日本語名称) **(国家財産管理開発公社)**

所在地: **DAR ES SALAAM**

主要都市からの距離 (キロ)

3. 事業規模及び内容: **NEDCOは1972年に公共建築物の設計を目的として開設されたタンザニア唯一の国営公社である。本社はダレスにあり、7州、23の地方都市にも支社がある。業務は建築設計、構造設計、積算、道路、給排水計画等の土木設計の部分に別々、設計管理まで行っている。**

4. 設備概要: **本社は5階建てで、事務所は約200名の職員がいる。同社は設計事務所としての設計概算、施工管理等に携る公用車を備えている。**

(2) 隊員の業務内容:

1. 4名の要請のうち3名は設計部門、1名は構造設計部門である。向部門を越えてか、部署に合致して、それぞれ外国人技術者とタンザニア人とでチームを構成し、隊員はプロジェクトをこなす。JOB ARCHITECTとして設計に従事する。
2. 現在、設計部門には18人、構造部門には4人、1人2名の専門家がおり、CHIEF ARCHITECTは日本人である。構造部門は2人の日本人がいる。
3. 設計内容は事務所、工場、集合住宅等様々で、政府関係機関の発注のものが多くある。中小規模の建築はコンクリート、ブロック構造に木造トラスを採用している。それ以上の建築物は壁をコンクリート、RC構造である。
4. 主にタンザニアプロジェクトの概算(0.7-1.5%)、現場で直接担当建築士として他の設計プロジェクトにも参加している。また詳細図を描け、外国人技術者は定期的に帰国し、施工時点を踏まえての調整がある。他の図面を分けて、重要な仕事となっている。これは英国方式であるが、各国専門家が入っている。理直しである。
5. カウンシルは設計部門、タンザニア内タンザニア人を業務を通じて指導している。
6. 教習者は一括揃って、30%量質を十分に行う。ドラフトは使用せず最終図面は1:100スケールである。
7. 外国人技術者と共に仕事をするには、英語が必要である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: **現在NEDCOは外国人専門家のタンザニア人建築士に変わって、その新しい設計がまだ施工管理まで行っている者が少ない。建築の段階で問題がなく、外国人専門家はタンザニア業務の請け負いで、タンザニア人に技術指導をしよう。更に、1人隊員は現場の経験が豊富である。NEDCO側の評価も高い。NEDCO側は、この種の隊員を継続して期待している。**

1名は設計部門、1名は神奈川隊員が要請で、他は新規である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 技術的には2級建築士程度以上。外国人技術者と共に業務遂行のため建築設計の少ないこと、又は経験豊富であること。できれば一級建築士の能力。
2. (心算と必要書類) 詳細図を描け、設計管理の経験があること。E字、急い、日本以上の経験者。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 9 月 20 日

調査者氏名

江畑 義徳 

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タンザニア	(現地公用語) ARCHITECTURE	新規	(男) 1 人	年 月	
	(日本語) 建築	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): PRIME MINISTER'S OFFICE
(日本語): 総理府
- ② 隊員勤務先名称: MBEYA MUNICIPAL COUNCIL 日本語名称 (ムベヤ市役所)
所在地: MBEYA 市内 主要都市 () から キロ
- ③ 事業規模及び内容: ムベヤ市役所は教育・厚生・建設・商業・総務の各部から構成され、職員数約 1000 名、建設部は土木・一般・道路・河川・建築・造園等の業務を実施し、市民の福利を面でサービスを推進している。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 日本の町役場程度の規模であるが、学校、病院、住宅等の構造物を所有している。建設セクタには設計人材はあっても完全ではない。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: ムベヤ市役所 建築士
- ② 技術の範囲: 公共構造物 (学校、病院、集合場、橋、住宅等) の建築設計、構造設計、見積り、場合によっては施工を担当する。従って、幅広い知識が要求される。ただし大規模建築
- ③ 業務の形態: 市役所内でチーフ・エンジニアとしても設計等に当たる。物は少ない。

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 建築セクタには数人の設計担当者があるが、技術レベルは低い。(要り技術) カウンターパートは少ない。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 設計機材はあっても 99.5% 程度しかなく、不足している。

- ⑥ 第 3 国人等の配置状況: 無し、ただし造園部内には隊員一人が派遣された。
- ⑦ 使用する言語: スワヒリ語

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: タンザニア西部に位置し、西部地区へのムベヤ市は人口が少なく、学校、住宅等の公共建設物の増加と急激な成長を遂げている。建築部内には技術的に十分な専門家は存在せず、その対応に困っている。特に同市役所には造園隊が活躍しているとの互恵的な関係が期待されている。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
 ① 学歴は高卒でもよいため、経歴が豊富か (現場経験及び構造設計を含む)
 ② 建築士、造園師資格が望ましい。最低 2-3 年であること

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 9月 15日

建築施工

調査者氏名 リマ事務所

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ペルー	(現地公用語) Arquitectura Civil	(男) 2人	訓練開始 年 月
	(日本語) 建築 (一般)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Sistema Nacional de Cooperación Popular

(日本語): 全国人民協力機構

2. 隊員勤務先名称: 国内各地の地方事業センターを巡回する (日本語名称: —)

所在地: ことにより一定しない。

主要都市からの距離 (一より一キロ)

3. 事業規模及び内容: 大統領に直属する機構で長官は企画庁長官が兼任している。

リマ市に本部を置き、現在国内約50ヶ所に地方事業センターを擁す。

(将来的には153ヶ所に増設予定) 各センターには技術者等約15名が

ニ. 設備概要:

配置され、管轄地域内の住民が自主的に行おうとする各種の公共事業に対し、資金・技術の両面から側面的に援助・指導を行う。

(2) 隊員の業務内容:

これにより開発の遅れた地域の振興を、当該地域住民の自主性を尊重しながら促進しようとする。この組織の事業目標となっている。

① 隊員の業務上の地位: 地方事業センターにおける技術顧問として各種の工事を直接指導する。時には通じて地域住民の人材育成及びペルー側技術者への技術移転を行う。他部門の隊員とグループ行動をとり予定。 (改修)

② 技術の展開: 主に地方における学校等の教育施設の建築及び診療所等の新設に係る工事に参加する。建築材料はアドベ(日乾レンガ)レンガ及び木材等が主体でコンクリート建築は少ない。高度な専門知識よりは、中広い知識と豊富な現場経験が必要となる。

③ カウンターパート: 特定のカウンターパートは居ないが、各センターに配属されているペルー側技術者と協力して業務を行うことになる。

④ 利用し得る機材: 計画では各センターにブルドーザー、ダンプカー、小型トラック、コンプレッサー、ミキサー、モーターポンプ、空気ハンマー、測量機器等が配置される予定

⑤ 使用する言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 鳩ヘラウンデ政権が国家再建計画の一環として、開発の遅れた地域の振興を図るために、その具体的な事業の実施機関として復興のための全国人民協力機構である。その活動はマスコミ等により広く取り上げられており、今後とも益々活発に展開して行くものと予想されるが、核となる技術者が不足している状況にあるため JOCV隊員の派遣が要請されたものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 大卒、実務経験3年以上 (○) 又は専門的・高技術経験5年以上 (○) 以上

② 適度な体力と精神力を有する

3. 自動車運転免許 大型建設機械の操作が出来ることが望ましい。

4. チームを組んでの活動となる為、協調性のある人物

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

建築製図

記入昭和 59 年 9 月 10 日

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Drafting (Civil)	(男) 1 人	訓練開始 58 年 4 月
	(日本語) 680 工学 (建築製図)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 58 年 7 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Manpower, Employment and Training (BUMET)
(日本語): 雇用促進事務局

ロ. 隊員勤務先名称: Technical Training Centre, Mirpur 日本語名称 (ミルプル職業訓練センター)
所在地: Mirpur, Dacca 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1963年開設, 20年近い歴史を誇る。自動車整備, 工作機械, 木工, ラジオTV, 空調等コースがあり 約500名の生徒, 約50名の教師がいる。

ニ. 設備概要: 国庫援助により各コースと設備は充実している。校舎, 教官宿舎, 生徒宿舎完備。

(2) 隊員の業務内容: 生徒及び教官への建築製図指導が主たる業務となるが, 同職種5人目の隊員は, 2. カリキュラム作成, 実技教科書, 模範図面集, 教師用指導要領, 理論教科書作り等の作業も与えられる。

① 隊員の地位: 校長下の教官で他教師との関係は本人次第で決まる。

② 技術の範囲: ほぼ完全に建築製図。6ヵ月ほど初等的図面のみだが, 将来延長を予想するので, 多少レベルは上がるかも知れない。

③ 業務の形態: 教室内において教師と共に実技指導にあたる。

④ 対象者及びカテゴリー: 生徒は10学年卒以上。30才未満の女性。約40人。カテゴリーは当取訓卒2名(男・女), 短大卒(女), 畑舎(1人(男))の計4人。技術水準も高く何にもない。

⑤ 機材, 生徒製図用具等。

⑥ 外国人: 110専門家, IDA専門家, 英・スエーデン, スイス, ポーランド, フィリピン, オーストリア等々10人弱が全取訓の企画にたずさわっている。

⑦ 使用言語: ベンガル語, 英語, 上記の人々との協力を与えると英語も必要。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

隊員の協力により教科書作成, 3ヵ月6ヵ月コースカリキュラム作成等の業務を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専, 短大卒以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和57年 〇 月 〇 日

建築製図

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Civil Drafting	(男) 1人	訓練開始 57年10月
	(日本語) 680 図学<土木建築>	(女) 人	派遣予定 58年 〇 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Manpower, Employment and Training (BUMET)
(日本語): 労働者雇傭促進事務局

ロ. 隊員勤務先名称: Technical Training Centre, Rajshahi 日本語名称 (ラジシャヒ職業訓練センター)
所在地: Shippura, Rajshahi 主要都市からの距離 約 30 キロ

ハ. 事業規模及び内容: 土木建築製図, 機械製図, 溶接板金, 木工, 電気, 機械, 自動車整備の7コースがあり, 訓練期間は6か月, 訓練生は10学年卒, 各科とも15~40人, 教師は1~5人程度で全訓練生200人, 教師19人。

ニ. 設備概要: 1968年開設, 1972年改訂代からのもの, 国連プロジェクトに依り, ILOの機械が入っており各ワークショップは独立している。教師生徒用宿舎, 教室, 実習場等は整っている。

(2) 隊員の業務内容: 施設は拡充しつつあるが, 教師が不足しており, 隊員の指導が望まれている。授業の実際の指導の他, 教師への指導も望まれる。

① 隊員の業務上の地位: 校長下の教官

② 技術の範囲: 建築, 橋梁土木関係, レタリング等の製図指導, 設計は行なわれない。

③ 対象者及びそのパート: 生徒数40名弱, 10学年卒業生以上の学生で16~19才。教師は短大卒ドラフト2~36才, その他増員になる可能性あり。

④ 業務の形態: 現地教官とともに訓練生の育成指導にあたる。訓練は講義が20%, 実習80%。

⑤ 現地で利用できる機械: 製図版, T定規, 三角定規, 三角スケール, 製図器, 墨は充実している。教官用にはロットリングペン, 文字版, トラックタイプ製図機械1台, レタリングセット1式がそろっている。印刷機械は遅れしており Blue Printing 1台, プレモP Printing 1台。

⑥ 取場における外国人: 溶接学科に国連ボウタイタイプのワリピン人, 自動車科と電気科に添付がいる。

⑦ 使用する言語: 訓練生を教えるのはベンガリ語, 教官とは英語でも可。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

施設, 機械は国連の援助で整えてきているが, 教師の質の向上が尚問題となっており, 隊員への期待が大きく, 現在4か所の取訓で10名が教えている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について〇印で囲むこと):

短大, 建築製図専攻の卒業以上, 実務経験2年以上あること。
2級建築士, 高技級技師2級があること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 7 月 20 日

調査者氏名 平 沢 昭 男

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Landscape Architecture (日本語) 造 園	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	58年1/4月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Petaling Jaya Municipal Council (日本語): マラリンジャヤ市役所					
② 隊員勤務先名称: Park and Recreation Division 日本語名称(公園課) 所在地: Jln. Yong Shook Lin, Petaling Jaya 主要都市(マラリンジャヤ)から 10 キロ					
③ 事業規模及び内容: 市内各所の新興住宅地の緑地造成、公園管理、道路の樹木植栽と その管理等を一任に行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 公園課所屬であるが市長直屬の公園緑地管理技師である。					
② 技術の範囲: 当国の緑地公園は発生と利用に合わせ、西洋式交遊(公園)造成の知識と技術が求められる。 地を合わせたような大面積の公園設計と施工、これと同時に小規模公園の設計と技術も必要である。					
③ 業務の形態: 下記(3)にも記述した通り、Petaling Jaya はマラリンジャヤのハブタウンとして急速に開発されている。 新しく造成される住宅地の中には至るところに公園用地があるが、これらの公園の設計、 施工、児童公園の設計・施工を担当する。大マラリンジャヤ、スラタラン振興地(面積約 5.2 ha、跡地には水がたまりやすいため大工の地がある)の公園化、市内中心部住宅地 (面積約 1.6 ha) の公園設計・施工、競技場等の整備がある。スラタラン振興地の 公園化は積年の計画で、大マラリンジャヤに担当する仕事が多い。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 公園課課長 (Mr. Ishak Saad, マレーシア 大学、39才 英国留学経験あり) のカウンターパートは経験豊富な造園技術者である。測量に 関する機材は土木課からの借用が可能である。					
⑤ 現地で利用できる機材: 製図用具等は隊員赴任後に揃えられた。測量に 関係する機材は土木課からの借用が可能である。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: マレー語 (英語も話せる)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: Petaling Jaya は首都マラリンジャヤに隣接する新興住宅地で、一部の 工場地帯が形成されている。国際空港から首都への途中の所々あるこの所の美化が進め られているが、公園緑地についてはまだまだ造園技師の不足が独自の設計が不可能で あり、公園課の実業業務を充実させるための隊員の協力が必要とされている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○(大学(造園学専攻)卒、経験3~5年以上) 造園施工管理技士、測量士補 熱帯樹木に関する知識が必須である。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55年 6月 25日

420 造 園

調査者氏名 長木 浩史, 田中 幸郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
モロコシ	(現地公用語)	(男) 2 人	訓練開始 年 月
	Architecte-paysagiste	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
造園			

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Dir. de l'Aménagement Territoire, Min. de l'Habitat et de l'Aménagement Territoire
 (日本語): 住宅国土省国土開発局

2. 隊員勤務先名称: Division de l'Environnement 日本語名称 (環道課)
 所在地: ラバト市内 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 住宅開発・国土開発・環境保全(支障)新設(1977年設置)省に
 対するスペースデザイン業務。

4. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

① 造園家及び造園技師。フランスの教育体系上造園家は建築師と同等に地位にあり、その国の教育機関では専ら生計課程の技術者としてその地位を占める。

② 建築師としての知識及び造園の知識。この両者は仕事に不可欠である。現地の国土開発局のスペースデザインの担当。設置計画、住宅開発のスペースデザイン(計画)が中心となる。

③ 住宅国土省の地方局 (Délégation) への出張。出張先はモロッコ各地の地方局で、1-2週間現地滞りを行う。ラバトは出張先で勤務する期間である。

④ スペースデザインに必要とする技術的知識。技術的知識は、設計(設計)の中心となる。通常建築師として働く(2年制の技術専門学校の教師補、製図師等)。

⑤ 住宅国土省の地方局 (Délégation) での勤務(ラバト)に有利。

⑥ 地元の協賛者 (協賛者) は、現地の国土開発局の職員である。その中には造園家養成機関の職員もおり、その中の一部の造園家は、その国の大学卒業生である。

⑦ フランス語。プロジェクトの必要と高いレベルで話せる。英語に比べてフランス語の方が有利である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現に田中幸郎隊員(54-Ⅲ)が配属されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

* 国の仕事量が、その国の事情・必要に応じて増減する形で対応する。その旨を、何にせよ、必ずしも必要としない場合も考慮される。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 3 月 日

調査者氏名 針 次 山 野 寛

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ED.27	(現地公用語) Ingénieur horticole	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 造園家 (園芸教師)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministère de l'Intérieur

(日本語): 内務省

2. 隊員勤務先名称: Service des Plantations, Prefecture de Rabat (日本語名称: ラバト市緑化事業所)

所在地: ラバト市

主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 首都の緑化公園事業および視察研修の主要研修の講師担任に從事して
以て業務の一助。常時 200-300人の労働者の十数名の監督(教員)の責任を担当し現地に
在りて植栽等や公園管理業務に從事する。

4. 設備概要: 圃場 (40 ha) 温室 (給水車、トロッコ、トロッコ等)。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 緑化事業所の教師 (Ingénieur)
- ② 樹木 草花の生産に從事し 圃場の管理に於ける。40年未満の経験は豊富である。
- ③ 園芸学 (高級中等科) の現任 圃場の管理に於ける。数名の花作園芸家は毎年
業務経験は豊富に於ける。若くは現任、教師(大学卒)の日本人園芸家 1名と現任の園
芸家は設計から現場管理まで責任を担当し圃場の改良等には積極的に働き掛ける。
その際、現任の園芸家、園芸の専門家、温室・灌水設備の圃場の有効利用(園芸、移植
技術の指導に於ける)期待する。
- ④ 造園設計と協力した業務に於ける。土地園芸家やカウチングに於ける。
- ⑤ 移植等や剪定作業の類は豊富。
- ⑥ 上述の日本人非園芸家は現任の園芸家の夫人に於ける。
- ⑦ 以上。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当事業所は 40年前の設立に於ける。現任の園芸家は
現任の日本の造園家への経験は豊富。現在の圃場の改良等に於ける。現任の園芸家の経験は豊富
に於ける。現任の園芸家の経験は豊富。現任の園芸家の経験は豊富。現任の園芸家の経験は豊富。
圃場の改良等に於ける。現任の園芸家の経験は豊富。現任の園芸家の経験は豊富。現任の園芸家の経験は豊富。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒。樹木学 花作栽培の業務経験 2年以上あることが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 56 年 9 月 19 日

50/2 三若の交際

調査者氏名 江畑義徳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語)	(男) / (女) 人	訓練開始 年 月
	LANDSCAPE ARCHITECTURE	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 造園	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): PRIME MINISTER'S OFFICE

(日本語): 総理府

2. 隊員勤務先名称: MINARA, MUSOMA, MUSHI & IRINGA TOWN COUNCIL 日本語名称 (ムワラ、ムソマ、ムシ、イリガ) 各市役所

所在地: ムワラ、ムソマ、ムシ、イリガ 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 各市役所では造園課を設け、都市開発計画に伴う公園、安全帯等の整備、造園を行っており。各市役所とも約10ヶ所程度の既存の公園を所有し、園地、植木の管理している。また新規造園計画(主として北東部地域による)の完成設計、施工も実施する。

4. 設備概要: 造園課スタッフ数名、トラック車両は各市役所とも1-2台。造園に必要な小道具類と花弁、観音木、樹木用園地がある程度。

(2) 隊員の業務内容:

(1) 隊員の業務上の地位: エンジニア、アシスタントの造園課主任

(2) 技術の範囲: 苗木、安全帯の管理(園地管理)、既存の公園、安全帯(ガード)の管理、新規公園の設計、測量、施工、造園全般についての知識が必要

(3) 業務の形態: 数名の造園課スタッフ及び数十名のアシスタントが従事している各現場(公園)での指導及びその維持管理を行う。

また、種子、工具類調達のためアシスタントあり、職員の人数、総理府も受け持つ

(4) 対象者の能力レポート: 今回の要請は全て支払要請であり、先任隊員が育てているアシスタントを継承するに必要の簡単な造園工事等の経験はあっても全般的に車内技術は低い。

(5) 利用する材料: 測量材料、製図材料、手工具類は必ず程度揃っている。

(6) 受け入れ国の配置: 造園課1名

(7) 使用する言語: スワヒリ語(車内用語は英語)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

- ・ タンザニアには10名の造園隊員が派遣され、土木活動している。その又側詳細は非常に高い。最近、各隊員との連絡が協同の合っている。
- ・ 親と都市を実現する。都市緑化整備に対する期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

車内学科卒業1年以上の実務経験をもち者が望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57 年 9 月 15 日

調査者氏名 江畑 義徳 

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	LANDSCAPE ARCHITECTURE	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 造園	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): PRIME MINISTER'S OFFICE.
 (日本語): 総理府

ロ. 隊員勤務先名称: MBEYA MUNICIPAL COUNCIL 日本語名称 (ムベヤ市役所)
 所在地: P.O. BOX 149, MBEYA (市内) 主要都市からの距離 (-より, キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ムベヤ市役所は教育部 厚生部 建設部 商農部 総務部 の5 構成員より 職員の約 1000 名が勤めてゐる。建設部は土木一般、道路、河川、建築、造園等の業務を実施する。

ニ. 設備概要: 市役所所有の公園、園場、安全帯、各種公共建築物。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: 林務課に配属する。課長の下の係長
2. 技術の範囲: 公園建設の上の業務となる。(公園計画、設計、材料計算、見積り、施工管理の一連の作業) 並に、苗圃、R.C. 既存の公園の管理及び工場、学校、病院等の公共施設の外構工事整備の係も実施する。
3. 業務の形態: 机上では設計等の業務。現場では園場、育苗管理、既存公園の植栽管理等を中心に現地指導員
4. 対象者の年齢・性別: 課内の職員は月給 1 人 (20~40代) 技術レベルは低い。かつ、パートは少ない。
5. 現地で利用する材料: 一輪車、スコップ、巻尺、芝草機、ピッケル等は一次揃つてゐる。
6. 職場における関係の国人: 都市計画の分野に現地スタッフが 1 人
7. 使用する言語: スワヒリ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 都市の美化・整備を計り、恵まれない観光資源を生かし観光客の層の増加を期してゐる。また、市街地内の混雑しており、憩いの場、遊戯の場の減少のため、オープンスペースの公園が計画されてゐる。
 (57年派遣隊員の受入要請)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 専攻学科卒業後、実務経験 2~4 年
- ② 測量、設計をこなせる人

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 6月 15日

460 造 園

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Landscape Architect	(男) 人	訓練開始 56年10or12月
	(日本語) 造園設計技師	(女) 人	派遣予定 57年2or4月
		(どちらでも可) 1人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works & Supply
(日本語): 建設供給省

ロ. 隊員勤務先名称: Building Department 日本語名称 (建築局)
所在地: P.O.Box 30967 Lusaka 主要都市からの距離 (ルカサ市内キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 建設供給省は1940年に設立され、土木・建築・車輻・印刷・営繕の5局からなり、約2,100人の公務員を擁し、workerも含めるとその数凡そ6,000人にものぼる。ザンビア全土にわたる政府の道路、住宅、建物、車輻等を維持・監督している。当建築局は更に8section(学校、施設、病院、郵電公社、空港、住宅、軍関係、政府事務所、造園)に分かれ、新しい種々の建築プロジェクトの設計及び施工監督にあつてゐる。また、現有建築物の造改築の設計にもあつる。

ニ. 設備概要: 造園設計に必要な事務所機材は一通揃つてゐる。

(2) 隊員の業務内容: 各省庁の要請による公共建築物の造園設計・施工監督を任せられる。アフリカの植物と大自然にマッチした自由でユニークな設計の出来る隊員が期待されている。また、既存の空港、大統領行、国会議事堂、国際会議場等、政府に属する造園の指導・監督にあつる。

① 隊員の業務上の地位: 造園設計技師

② 技術的範囲: 他のSectionで既に設計された建物にマッチして造園の設計にあつる。実際既に作られてゐる大統領行等の造園の手入れについても指導・監督が要請される。

③ 業務の形態: 本隊員は2年間の任期中半分は現場指導、残りの半分は新しい造園の設計にあつる。又、年平均50余ある大型プロジェクトにも参加が予定されている。

④ 対象者及びカウンターパート: 現在9名おり、高等学校卒業後、全員 Kitwe の専門学校を修了しており、ある程度設計・施工ができる。年令20才前後

⑤ 現地で利用できる機材: 揃つており、携行する必要なし

⑥ 上司の国: 現在インド人造園技師1名がおり、隊員は彼の下で業務につく。

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 高級技術者の不足している現状から外国人コトラクターに頼り切つてゐるものの、将来、ザンビア化を旨とするためには9名のアシスタントをできるだけ早い時期に指導し、育成することを期待している。従つて必ずしも日本の技術者でなくとも、国柄、地域柄にマッチした設計の出来る者であれば誰でもかまわないとの前提のもとに、はじめで意欲のある者を強く要望している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大卒 (造園学科卒業の者) ○ 造園設計実務経験最低5年以上